

平成 21 年 7 月 9 日
経 済 産 業 省
原子力安全・保安院

柏崎刈羽地域における(独)原子力安全基盤機構 耐震安全センター構想について

原子力安全・保安院は、平成 21 年度から、原子力発電所の耐震裕度を定量的に評価する手法やサイト近傍で常時地震観測を行う等の調査研究を拡充することとし、効果的な研究成果を上げていくために、地元根ざした産、学、官の研究協力体制を構築すべく、関係機関と調整してまいりました。

今般、新潟工科大学における耐震安全研究拠点の整備が決定されたことに併せ、同研究拠点に(独)原子力安全基盤機構(JNES)が「柏崎耐震安全センター」を設置することとしたのでお知らせします。

今後、同センターにおいて運営委員会を設置し、新潟工科大学や東京電力(株)等と連携して耐震安全について研究してまいります。具体的には、耐震設計の信頼性の向上に向け、柏崎刈羽原子力発電所周辺で大深度(3,000m 級)への地震計を設置し観測を行うとともに、地震観測ネットワークと接続し、国際的にも最先端の研究を行います。また、最新の解析手法を用いた耐震設計や耐震裕度の研究を行うこととしています。

さらに、本拠点を活用して、国際原子力機関(IAEA)等との研究協力や人材育成プログラムを実施する予定です。

1. 活動内容

- ・地震計の大深度(3,000m 級)での設置と地震観測ネットワークとの接続
((独)防災科学技術研究所と連携)
- ・最先端の三次元解析による耐震設計や耐震裕度の研究
- ・国際シンポジウムの開催、耐震安全国際研修の実施(IAEA 等とも連携)

2. 場所

新潟工科大学(新潟県柏崎市)

3. 連携先

新潟工科大学をはじめとする周辺大学、東京電力株式会社
(独)防災科学技術研究所などの独立行政法人 など

(本発表資料のお問い合わせ先)

原子力安全・保安院

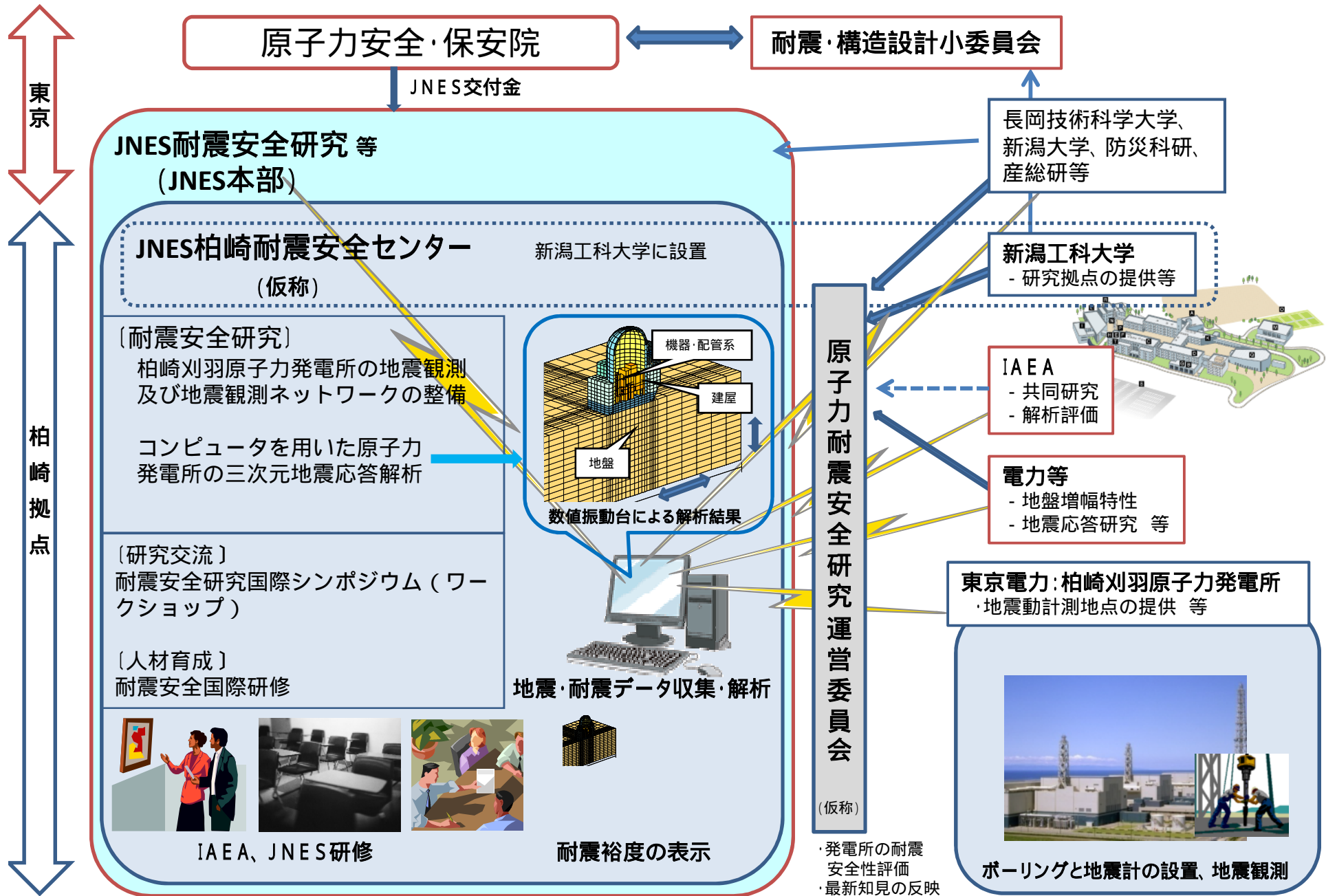
原子力安全技術基盤課長 大村 哲臣

担当者:小野

電話:03 - 3501 - 1511(内線 4881)

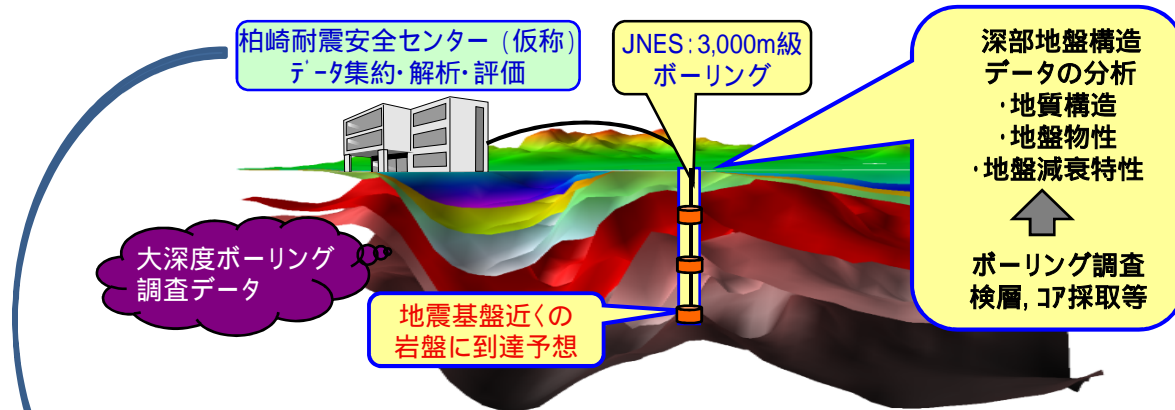
03 - 3501 - 0621(直通)

地元における耐震安全研究プロジェクトの概要

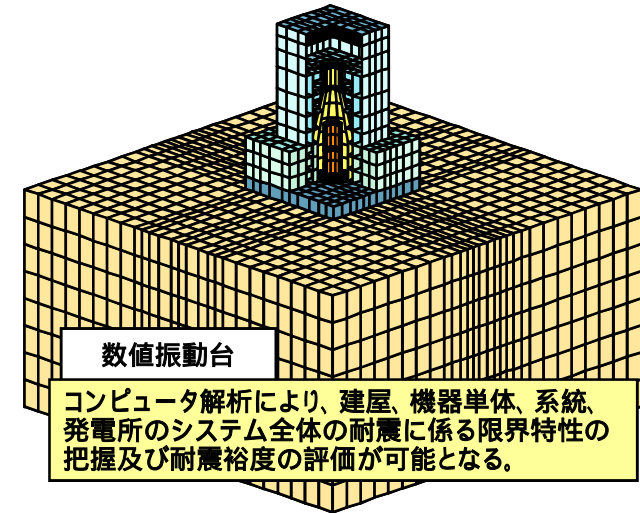


耐震安全研究プロジェクトのイメージ

大深度ボーリング調査



三次元解析による耐震裕度の研究



地震観測ネットワークの整備

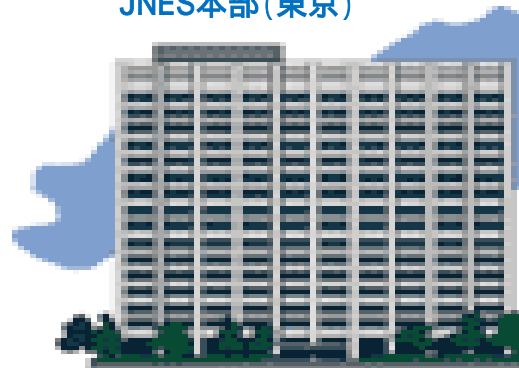


JNES柏崎耐震安全センター (仮称)

他機関の地震観測網
文部科学省
(独)防災科学技術研究所
大学、気象庁、事業者・その他の機関

研究プロジェクトの運営

JNES本部 (東京)



(プロジェクトのスケジュール)

	H21	H22	H23	H24	H25 ~
事前準備 (全体)	計画策定・観測システム開発等				
柏崎 (軟岩) サイト		ボーリング		観測・データ解析	